

きりたけほうおうもんすかしぼりおくしゃわきたて
桐竹鳳凰文透彫奥社脇立



△桐鳳凰

△竹鳳凰

ヒノキの厚板を用いて桐に鳳凰、竹に鳳凰、および土坡や水紋などを高肉彫にあらわし、
地板には金箔を置き、透し彫りの部分は極彩色を施してある。

室町時代天文 15 年（1546）の作品である。